

## 第4学年3組 社会科学学習指導案

平成28年11月10日 木曜日 第3時限 4年3組教室 指導者 高辻 紘子

### 1 単元 おかざき学習「岡崎の英雄 徳川家康」(7時間完了)

#### (1) 目標

- ① 徳川家康の生い立ちや関わりある寺社や伝説・事象を調べる活動を通して、郷土への誇りや愛着を深めようとする。(関心・意欲・態度)
- ② 徳川家康の遺訓には、どのような願いが込められているかを考えることができる。(思考・判断)
- ③ 徳川家康の生い立ちや関わりある寺社や伝説・事象について資料から読み取ったり、年表などに分かりやすくまとめたりすることができる。(観察・資料活用 of 技能・表現)
- ④ 徳川家康が岡崎の英雄とされる理由を生い立ちから天下統一までの出来事から理解することができる。(知識・理解)

#### (2) 構想

本単元で取り上げる徳川家康は、岡崎の英雄である。全国的に知名度が高いので、歴史を学習していなくても様々な情報を耳にする機会が多い人物である。岡崎市には、家康ゆかりの場所が多く残っているが、家康が岡崎出身ということくらいしか知らない子がほとんどである。多くの家臣に親しまれ、数々の戦いで勝ち、長い時を経て天下を取るに至った家康から私たちが学ぶことは多い。そんな家康は調べる価値が高く、子供たちが調べる喜びを味わい、郷土への愛着を育むことができるだろう。

1学期の「くらしを守る」の学習で、子供たちは、消防署や交番の施設を実際に見たり、職員の方からお話を聞いたりする活動に意欲的に取り組んだ。そこで分かったことを用紙いっぱい記録したり、進んで発表したりしようとする姿も見られた。また、「きょう土を開く」の学習で、伊賀川の改修工事に尽力した浅井浅次郎の苦労について学んだ時には、「伊賀川に人が集まり、きれいな川になってほしい」という思いをもつことができた。しかし、実際にその場所を見ることはできなかつたため、あまり身近に感じることはできなかつた。そこで、本単元でも実物や人に触れる活動を取り入れることで意欲的に調べようとすることができると考える。調べたことから自分なりの考えを持つことができる子になってほしい。そして、社会的な事象をもっと身近なこととして捉え、岡崎の英雄である徳川家康が自分の住んでいる地域と関わりがあることに誇りと愛着を持ってほしい。

単元の導入では、徳川家の家紋「三つ葉葵」を見せ、どこかで見たことがないかと問うことで本単元への関心意欲を高める。岡崎城や学区にある長瀬八幡宮などの声がかかるだろう。自分たちの住む地域にも家康と関係のある場所があることに気付くことができるだろう。さらに、「家康行列」の写真を見せ、「なぜ家康が岡崎の英雄とされるのか」と問うことで、家康について知りたいという子供たちの思いを高めることができると考える。

家康について知りたくなった子供たちに、「三つ葉葵」がある長瀬八幡宮に行って調べようと投げかける。森越町総代さんから、長瀬八幡宮と家康との関わりについて話を聞く機会を設定する。家康が桶狭間の戦いで敗れ、岡崎に逃れてきた際、長瀬八幡宮の森から出てきた三匹の白い鹿によって、命を助けられたという伝説がある。このことにより、家康は、長瀬八幡宮を厚く信仰し「一心」の文字を彫った額や「神代小町絵巻」を奉納したり、関ヶ原の戦いの途中に立ち寄って必勝を祈願したりしたと言われている。話を聞いたり、実物を見たりすることで、家康が自分たちの住んでいる学区に関わりがあったことを実感し、家康について身近に感じることもできるだろう。また、岡崎市の家康と関係のある寺社や伝説があることを紹介することにより、家康と岡崎市との関わりへの深さに気付くことができるだろう。

次に、家康の遺訓を取り上げ、このような言葉を残した「家康がどんな人だったのか」と投げかける。そうすることにより、家康の人物像に迫るために、家康がどんな人生を歩んだのかを知る必要があることに気付かせ、郷土読本「おかざき」で家康に関する主な出来事を学ぶ。そして、もっと知りたいことについて、さらに詳しく図書で調べるようにする。図書は、学校や市の図書館から借り、学級に特別コーナーを設置して、いつでも調べられる環境を整え、総合的な学習の時間にも

調べるようにする。

本時では、家康がどんな人だったのか話し合い、遺訓に込められた願いを探っていく。家康がどんな人だったのかについて、「小さい頃から苦勞して、我慢強い人」「助けてもらったことへの感謝を忘れない人」など、調べたことを根拠に自分の意見を言うことができるだろう。また、友達の考えを聞くことで、自分では思いの及ばなかった家康像にも気付くことができるだろう。さらに、遺訓に込められた家康の願いに立ち戻ることで、戦乱の世の中で数々の困難に立ち向かい、平和の礎を築いた家康への思いを深めることにつながるだろう。

単元の最後に「なぜ家康は岡崎の英雄なのか考えよう」と問い、単元の初めの考えがいかに変容したか、学びの深まりに気付くようにしたい。本単元の学習を通して、岡崎には家康とゆかりのある場所が多く残っていることや家康の生き方や遺訓から、徳川家康を生んだ郷土岡崎に誇りと愛着をもち、家康の願いを受け継いでいく地域社会の一員としての意識を育てていきたい。

### (3) 指導計画 (7時間完了)

学 習 課 題	学 習 内 容	時間	備考
徳川家康について知っていることを話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三つ葉葵」を見せ、どこかで見たことがないかと問うことで本単元への動機づけをする。</li> <li>・家康行列の写真を見せ、家康がどんな時代にどのような生き方をした人なのかを予想する。</li> <li>・家康について知っていること、調べてみたいことを問い、調べる意欲を高める。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三つ葉葵」の図柄</li> <li>・家康行列の写真</li> <li>・岡崎城の写真</li> <li>・家康公像の写真</li> </ul>
長瀬八幡宮は家康とどんな関係があるのか調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三鹿の渡し伝説、「一心」の文字を彫った額や「神代小町絵巻」を奉納したこと、関ヶ原の戦いの途中に立ち寄って必勝を祈願したことなどを知る。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長瀬八幡宮見学</li> <li>・森越町総代さんの話</li> </ul>
家康と関係のある寺や神社、伝説にはどんなものがあるだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡崎市内にある家康と関係の深い寺や神社、伝説を知り、地図で確認する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡崎市の白地図</li> <li>・寺や神社の写真</li> <li>・DVD</li> </ul>
家康はどんな人だったのか調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家康の遺訓について知る。</li> <li>・郷土読本「おかざき」で家康の生い立ちを知る。</li> <li>・一人調べをする。</li> <li>・調べたことを発表し合い、情報を共有する。</li> </ul>	2 + (総合3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東照公遺訓</li> <li>・徳川家康関連年表</li> <li>・家康がいたところを示した地図</li> <li>・家康に関する図書</li> </ul>
家康はどんな人だったのかを話し合い、遺訓に込められた願いを見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家康がどんな人だったのかを考え、話し合う。</li> <li>・遺訓に込められた願いを探る</li> </ul>	1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東照公遺訓</li> </ul>
なぜ家康は岡崎の英雄なのか考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家康が岡崎の英雄とされる理由を話し合う。</li> </ul>	1	

## 2 本時の授業

### (1) 目 標

- ① 家康の生き方に興味をもち、家康の人物像について進んで考えようとする。  
(関心・意欲・態度)
- ② 家康について調べて分かったことや思ったことを友達と関わらせ、家康の人物像や遺訓に込められた願いについて自分の考えをもつことができる。  
(思考・判断)

(2) 本時におけるE S Dの概念、育てたい能力や態度

育てたい能力や態度

【能力・態度④コミュニケーションを行う力】

家康の人物像について、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いて考えを深めたりすることができるようにする。

(3) 目標を達成するための手だて

- ①発表への意欲を高め、自信をもって発表できるようにするため、学習カードに朱書きを入れたり、学習の足跡として年表を掲示しておく。
- ②発言の根拠を明らかにするため「なぜなら～」「～だから」という話型、賛成や付け足しなど友達の発言との関わりを示すハンドサインの活用を促し、構造的に板書する。

(4) 座席表 (別紙)

(5) 準備

- ①教師 家康の写真
- ②児童 事前に家康について調べた学習カード

(6) 展開


段階	子供の活動	教師の活動
導入 (3)	<p>1 家康の遺訓を読む。</p> <p>・がまんが大切だと言っているな。</p> <p>・苦しかった時を思い出していたんだな。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『東照公遺訓碑』の全文を音読するよう指示する。</li> <li>・学習課題を板書し、子供たちと一緒に読む。</li> </ul>
<p>家康はどんな人だったのかを話し合い、遺訓にこめられた願いを見つけよう</p>		
展開 (20)	<p>3 家康はどんな人物だったのか調べたことをもとに話し合う。</p> <p>・我慢強い人だと思う。父母と早くに別れたり、長い間人質としてとらえられたりしてとても苦労したから。</p> <p>・強い人だと思う。いろいろな戦いに勝った人だから。</p> <p>・知恵をしばってよく考えた人だと思う。相手より少ない兵で戦に勝ったから。</p> <p>・失敗から学ぶ人だと思う。三方ヶ原の戦いで負けた悔しさを忘れないために絵まで描かせたから。</p> <p>・愛されていた人だと思う。死にそうになっても周りの人に、何度も助けられているから。</p> <p>・やさしい人だと思う。平和な世の中にしたと考えた人から。</p> <p>・信じる心や感謝を忘れない人だと思う。長瀬八幡宮に額や絵巻を奉納したり、必勝祈願に訪れたりしたから。</p> <p>・目標のために努力をする人だと思う。天下統一をして、將軍になったから、</p> <p>・周りの人の意見をよく聞く人だと思う。教えをいつまでも忘れないから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信を持って発表できるように、子供たちの調べ学習で使った学習カードに朱書きをしておく。</li> <li>・友達の意見に耳を傾けられるようにコの字隊形で話し合いを行うようにする。</li> <li>・調べたことをもとに考えたと分かるように、「なぜなら～」「～だから」を使って、根拠もつけて発言するよう話型を示す。</li> <li>・調べたこととは、自分が調べたことだけではなく、これまでの授業で学んだことや友達の意見を聞いて分かったことも該当することを伝える。</li> <li>・どんな意見でも黒板に書きとめ、発表したことを肯定的に受け止める。</li> <li>・色チョークを使い、事実と子供たちの考えを区別して板書する。</li> <li>・学習の足跡を掲示しておき、子供たちの発言がどの出来事とつながっているのか、確認できるようにする。</li> <li>・ハンドサインで、つけたし発言や友達の意見につなげて発言できた子を称賛する。</li> <li>・根拠を明らかにして発言できている児童を称賛する。</li> <li>・多様な意見が出されるよう、意図的指名も取り入れる。</li> </ul>

(17) 整理 (5)	<p>4 家康の遺訓は、わたしたちに何を伝えたかったのかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家康は、苦勞しても、がまんをすればよいことがあると伝えたかったのかな。</li> <li>・目標をもって、あせらずに一日一日を大切に生きていきなさいと教えてくれていると思う。</li> <li>・「怒りは敵」と思ってすぐにおこらないことが、みんなとなかよく過ごすコツだと言っているのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家康が遺訓で何を伝えたかったのかを考え、ワークシートに書くよう指示する。</li> <li>・なかなか考えを書けない児童と対話し、板書から考えるヒントを与える。</li> <li>・子供たちから出された意見が遺訓のどの言葉につながるのかが分かるように板書する。</li> <li>・家康の遺訓や人生から学んだことを、自分自身の生き方に生かそうという思いを書くことができた児童を意図的指名する。</li> <li>・本時の活動を振り返り、考えたことを整理するために、ワークシートに考えをまとめる時間を確保する。</li> <li>・次時は、家康が岡崎の英雄として人々に愛される理由について考えることを伝える。</li> </ul>
	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を聞いて、家康がどんな人だったのかよく分かってきたよ。</li> <li>・家康は、平和な世の中になってほしいと思っていたんだね。</li> </ul>	


(7) 評価

- ① 家康がどんな人だったのかを進んで発表したり、家康が遺訓で伝えたかったことを考えようとしたりすることができたか。(活動3・4・5の様子から)
- ② 家康がどんな人だったのか、遺訓で何を伝えたかったのかについて調べたことや友達の意見を結び付けて考えることができたか。(活動3・4の様子やワークシートから)

(8) 板書



家康はどんな人だったのか話し合い、遺訓にこめられた願いを見つけよう。



<p><b>平和を願う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「厭離穢土欣求浄土」平和をめざす</li> <li>・戦いを終わらせ、260年平和が続いた</li> </ul>	<p><b>失敗から学ぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三方ヶ原のたたかいで負けたことがある</li> <li>・「しかみ像」くやしさをわすれないため</li> </ul>	<p><b>頭がいい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない兵でも勝った</li> <li>・「三鹿の渡し」「鳩が窟」の伝説</li> <li>・関ヶ原のたたかいで、てきを味方につける作戦をとった</li> </ul>	
<p><b>むだなことをしない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むだなたたかいをしない</li> <li>・家康は地味な武将だった</li> </ul>	<p><b>やさしい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家来は宝」</li> <li>・「みんなのための天下」</li> </ul>	<p><b>がまん強い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3さいで母とわかれる</li> <li>・6才で人質になる</li> <li>・長い間人質生活をした</li> <li>・8さいで父がころされる</li> </ul>	<p><b>あきらめない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将軍となり、江戸幕府を開く</li> <li>・秀吉の家来となって天下を取るのを待った</li> </ul>

家康がのこしたとされることは

人の一生というものは、**重い荷物を背負って**遠い道を行くようなものだ。急いではいけない。

不自由があたり前と考えれば、不満は生まれない

心に欲が出たときには、苦しかった時を思い出すことだ。

がまんすることが無事に長くいられる基で

怒りは敵と思いなさい。

勝つことばかりを知って、負けを知らないことはきげんである。

自分の行動について反省し、人を責めてはいけない。

足りない方が、やり過ぎてしまっているよりはすぐれている。

家康の願い＝平和な世の中にしたい